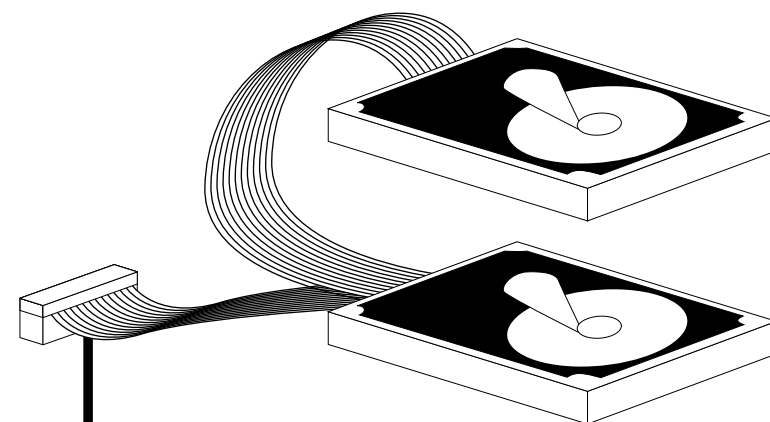
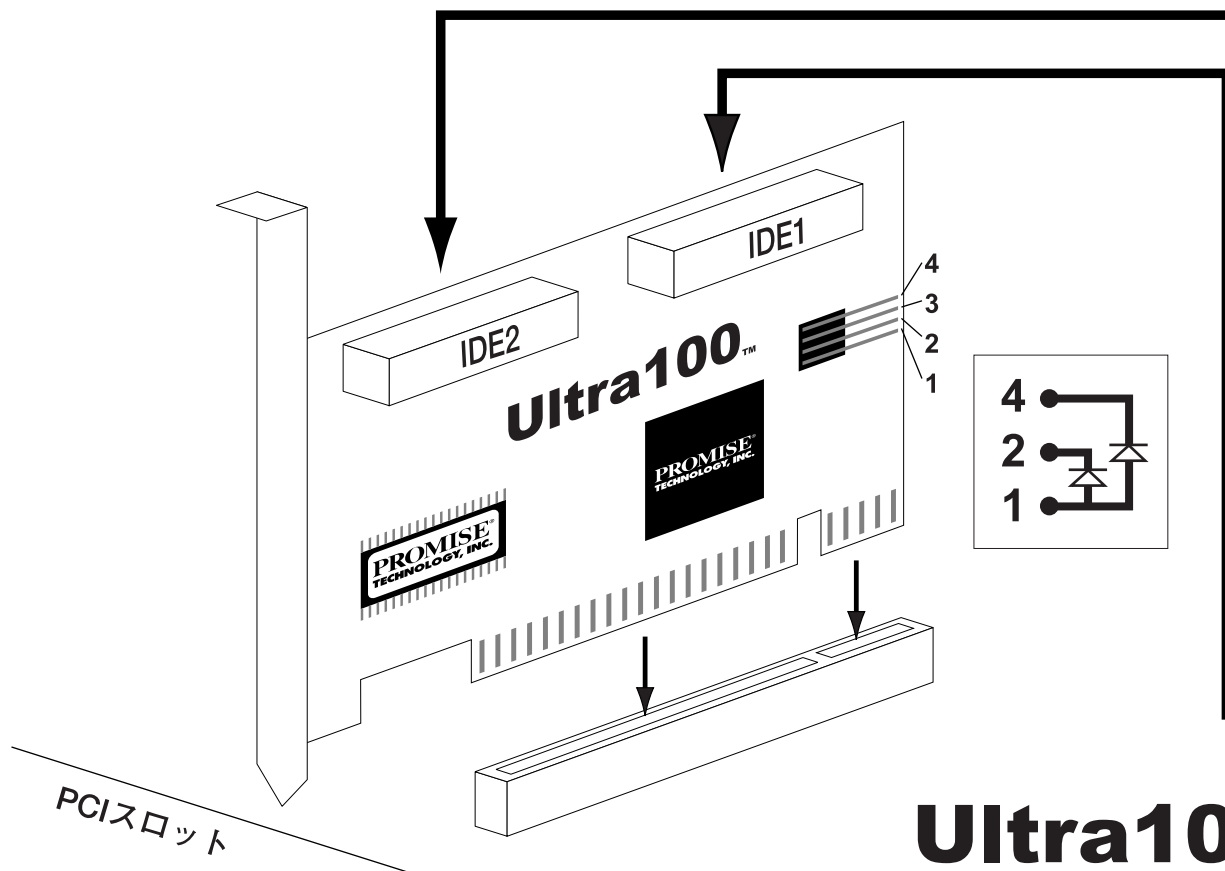


ジャンパー設定	
HDD#3	マスター
HDD#4	スレーブ



ジャンパー設定	
HDD#1	マスター
HDD#2	スレーブ



**Ultra100™**

# Promise Ultra100 クイックインストールガイド

## はじめに

- 1.本書には、正確な情報を記載するように努めました。但し、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。
- 2.本説明書によって生じたトラブルの責任には応じかねますのでご注意ください。
- 3.本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁じられています。
- 4.本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
- 5.本製品に関して、日本国外で使用された場合の製品保証サービス及び技術サポートはいたしません。

## ハードウェアを扱う前に

- 1.ハードウェアを扱う前に、ケースなどの金属に触って体に帯電している静電気を放電してください。
- 2.直接、間接に関わらず、不適切なインストール手順によりハードウェアが破損した場合、製造元はそれを補償する責任をもちません。
- 3.インストールを自分で行う自信がない方は、資格を持ったコンピュータ技師に相談してください。
- 4.インストール中に電源が入っていると、システムコンポーネント、アクセラレータカードが破損したり、あなた自身が怪我をする可能性があります。

## Windows98導入済みコンピュータ

- コンピュータの電源を切ってUltra100カードを導入しハードディスクを接続します。
- 電源をいれるとWindows98のシステムが起動します。
- Ultra100カードが正しく導入されていれば「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しデバイスの導入作業へ進みます。「次へ」をクリックします。
- 「現在使用しているドライバーより更に適したドライバを検索する(推奨)」がチェックされているので、そのまま「次へ」をクリックする。
- 表示されている画面、フロッピーディスクドライブの項目にチェックが入っていることを確認します。表示されていないときは「検索場所の指定」で「A:¥」を指定します。
- 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入する。
- 「次へ」をクリックすることでドライバが検索されます。
- 画面上「ドライバのある場所:」にフロッピーディスクのアイコンとドライバ名が表示されます。
- 「次へ」をクリックし、ドライバを導入します。

注:「バージョンの競合ウインドウ」が表示されるようであれば「はい」を選択し、現在使われているドライバーを書き換えないようにしてください。

- 「完了」ボタンをクリックすることでドライバの導入が終わりました。
- 新しいハードウェアの設定を完了するために、コンピュータを再起動する必要があります。
- 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブから抜きます。ダイアログボックスの「はい」をクリックしてコンピュータを再起動します。

### 導入の確認

「スタート」、「設定」、「コントロールパネル」、「システム」、「デバイスマネージャ」SCSIコントローラーが追加され、「Win95-98 Promise ULTRA 100(tm) IDE Controller」が導入されています。

## 新規にWindows98を導入する

- Windows98は通常の手順で導入します。導入が終わったのちに本ボードのドライバの更新をおこないます。
- Windowsのデスクトップ上「スタート」->「設定」->「コントロールパネル」->「システム」->「デバイスマネージャ」を選択します。
- 「その他のデバイス」に「PCI MassStorage Controller」に「!」マークが表示されています。
- 「PCI MassStorage Controller」を選択し「プロパティ」を開き「ドライバー」をクリックします。
- 「ドライバの更新」を選択すると「デバイスドライバの更新ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックすると検索方法が表示されます。
- 「現在使用しているドライバより更に適したドライバを検索する(推奨)」がチェックされているので、そのまま「次へ」をクリックする。
- 表示されている画面、フロッピーディスクドライブの項目にチェックが入っていることを確認します。表示されていないときは「検索場所の指定」で「A:¥」を指定します。
- 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入する。
- 「次へ」をクリックすることでドライバが検索されます。
- 「次へ」をクリックし、ドライバを導入します。

注:「バージョンの競合ウインドウ」が表示されるようであれば「はい」を選択し、現在使われているドライバーを書き換えないようにしてください。

- 「完了」ボタンをクリックすることでドライバの導入が終わりました。
  - 新しいハードウェアの設定を完了するため、にコンピュータを再起動する必要があります。
  - 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブから抜きます。ダイアログボックスの「はい」をクリックしてコンピュータを再起動します。
- 導入の確認
- 「スタート」、「設定」、「コントロールパネル」、「システム」、「デバイスマネージャ」SCSIコントローラーが追加され、「Win95-98 Promise ULTRA 100(tm) IDE Controller」が導入されています。

## DOS環境への導入

DOSとWindows3.1環境ではUltra100 BIOSがサポートしていますのでドライバを導入する必要はありません。

## Windows95環境への導入

- 通常通りWindows95を導入します。
- 「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」に「その他のデバイス」に「PCI MassStorage Controller」に「!」マークが表示されています。
- 「PCI MassStorage Controller」を選択し「プロパティ」を開き「ドライバー」をクリックします。
- 「ドライバの更新」を選択すると「デバイスドライバの更新ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックすると検索方法が表示されます。
- 「現在使用しているドライバーより更に適したドライバを検索する(推奨)」がチェックされているので、そのまま「次へ」をクリックする。

- 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入する。
- 「次へ」をクリックすることでドライバが検索されます。
- 「次へ」をクリックし、ドライバを導入します。  
注:「バージョンの競合ウインドウ」が表示されるようであれば「はい」を選択し、現在使われているドライバーを書き換えないようにしてください。
- 「完了」ボタンをクリックすることでドライバの導入が終わりました。
- 新しいハードウェアの設定を完了するためにコンピュータを再起動する必要があります。
- 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブから抜きます。ダイアログボックスの「はい」をクリックしてコンピュータを再起動します。

## Windows NT4.0環境への導入

- 以下の手続きが終わるまでハードディスクは接続せずに作業をおこないます。
- 通常通りWindowsNT4.0を導入します。途中「S=追加デバイスの指定」を選択し、その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択します。
  - 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入する。A:¥NTを指定し、「Enterキー」を押して「Win NT Promise ULTRA 100(tm) Controller」を選択する。以下通常のWindowsNT導入手順に従って作業を継続します。

## WindowsNT4.0環境への追加導入

- 以下の手続きが終わるまでハードディスクは接続せずに作業を行います。
- 通常通りWindowsNTを導入します。
  - WindowsNTデスクトップから「スタート」->「設定」->「コントロールパネル」を開きます。
  - 「SCSI アダプタ」のアイコンをダブルクリックし「ドライバ」タブをクリックします。
  - 「追加」をクリックします。
  - 「ドライバのインストール」が起動します。
  - 「ディスク使用」をクリックします。
  - 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
  - 添付されている「ULTRA100ディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
  - A:¥NTを指定し、「OK」をクリックします。
  - 「Win NT Promise ULTRA 100(tm) Controller」が表示されていることを確認し「OK」をクリックします。
  - 「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。ハードディスクを接続する必要がありますので、「今すぐコンピュータを再起動しますか?」の表示部分で「いいえ」を選択します。
  - 「OK」をクリックしプログラムを閉じます。
  - 「ULTRA100ディスク」を取り出します。
  - 「スタート」->「シャットダウン」->「コンピュータをシャットダウンする」を選択し、「はい」をクリック。
  - 「コンピュータのシャットダウン」ダイアログが「電源を切断しても安全です。」と表示してからコンピュータの電源を切ります。
  - Ultra100カードの「IDE1コネクタ」にハードディスクを接続します。再起動したあとWindowsNTのプログラム、「ディスクアドミニストレータ」を使ってハードディスクを使えるように設定します。